

授業科目 作業療法概論

科目コード番号	
対象学年	1
対象学科	作業
開講時期	前期
必修・選択	必修
単位数	1
時間数	30

【担当教員名】 矢谷令子 他	対象学年	1	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【概要】
 作業療法に必要な一般的基础知識を種々の学習体験および講義、討議を通して習得する。
 これによって今後とも人として、職業人として自覚を養うとともに、在学中学習する科目への基本的理解を備えるものとする。

【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	作業療法学全書第1巻 作業療法概論	日本作業療法士協会編 矢谷令子	協同医書出版社	2000、¥3200 (+税)
	作業療法実践の仕組み	矢谷令子、福田恵美子	協同医書出版社	2001、¥3500 (+税)
参考書	授業中に紹介する			
その他配布資料	プリント			

【評価方法】
 修得チェックリスト 80%
 他提出物 20%

【履修上の留意点】
 ① 期間中の抄読レポート提出について
 ② 第4回～第8回については講義初日に紹介する

【本科目の一般教育目標：GIO (General Instructional Objective)】
 作業療法に必要な基礎知識を、人として、専門職業人として学ぶ

- 【行動目標：SBO (Specific Behavioral Objectives)】**
- VTRにみる臨床場面から作業療法の役割について話し合うことができる
 - 「人間」について考えたことを友人と語り合うことができる
 - 「自分」について考え、ある程度の「自分理解」を確認することができる
 - 人間と生活、人間と作業、人間とコミュニケーションについて考え、クラスで討議することができる
 - 「作業」を体験し「作業」の作業療法適用について気づき発表することができる
 - 心身の機能に障害をもつということを擬似体験し、考え、工夫し感じたことについて話し合うことができる
 - 「作業」を通してグループリーダーの体験学習をすることができる
 - 作業療法の起源、歴史について学習し概略記述することができる
 - 作業療法の原理、概念（核）について話し合うことができる
 - 作業療法の対象者、領域毎への作業療法の特長について記述することができる
 - 作業療法実践の手順について概略説明することができる
 - 本科のチェックリスト記述を終了し質問及び正しい知識を習得することができる

授業計画

教室 _____

回数	授業内容	SBO 番号	担当教員	教授学習法	学習課題 又は 備考
1	作業療法の把握に備えて：臨床場面に見る役割と専門性	1	矢谷令子	VTR、講義	
2	作業療法の理解に備えて：人間理解、自分理解	2、3	〃	討議、自己学習	
3	〃 : 人間の生活と関係因子	4	〃	意見交換	
4	〃 : 人間と作業活動体験（1）	5	〃	講義、討議、 演習	
5	〃 : 〃 （2）	5	〃	〃	
6	〃 : 機能不自由擬似体験（1）	6	〃	〃	
7	〃 : 〃 発表（2）	6	〃	〃	
8	〃 : グループリーダー体験	7	〃	講義、演習	
9	作業療法概論の修得：作業療法の起源と歴史	8		講義	
10	〃 : 作業療法の原理とその核	9		講義、討議	
11	〃 : 作業療法の適用領域	10	永井洋一、 岡村太郎	講義	
12	〃 : 作業療法実践の手順	11	矢谷令子	〃	
13	〃 : 修得事項の確認（1）	12	〃	質疑応答、 討議	
14	〃 : 〃 （2）	12	〃	討議	

その他